

# ちびっこ チャンピオン

「はっぴー はるういん☆」

柳田保育園



- (左上から)
- しまむら かな たくん (5さい)
  - ふじた せな とくん (6さい)
  - ふくさわ ほのかさん (6さい)
  - みうら ゆう ひくん (5さい)
- (左下から)
- こし あいらさん (5さい)
  - むらかみ あいらさん (5さい)
  - むらかみ れいらさん (5さい)
  - やすた がくとくん (4さい)
  - いそべ たいせいくん (5さい)
  - おおた たいすけくん (5さい)
  - そのむら あいねさん (4さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは  
誕生日を迎えたチ  
ビッコ達をご紹介します



成田 花楓ちゃん

(3区) R元年10月17日  
「これからもたくさん笑って過ごそうね！  
姉妹仲良くしてきてくれてありがとう♡」



松沢 優季くん

(広戸) R元年10月19日  
「我が家のムードメーカー！  
これからも元気に大きくなってね♡」



阪崎 展彩ちゃん

(風合瀬) R4年10月11日  
「この笑顔で  
パパママは幸せだよ♡」

## 草創教育長の

### 「今月の一枚」

#### 親切と恩返し

恩返し話を二題。

一昨年夏、炎天下、県都の繁華街を一人で歩いていた時のこと。前を歩いていた女性が「えっ？？」と叫んで、急に立ち止まったのです。指さす足もとを見ると……なんと小さなミドリガメ！ 人通りの多い歩道を悠々と横切り、車道に向かって歩いていきます。「どこから来た？」と私。「ぎゅとぎゅと」その神社の池から……と女性。確かに近くには有名な神社が建ち、池もあるはず。でもゆうに100mは離れています。お前は新天地を求めて旅立ったのか？ それとも神の使いか？ あれこれ妄想していたらどうしましょう？」と女性。「池に返してきますよ」と私。放っておけば人か車に踏まれベチャンコです。ヒョイとつまんでひとっ走り、神社の池に放り投げました。ポチャーン。

その夜、わが家の戸口がトントんたたかれ「今日助けていただいた亀でございませう……と来れば、日本昔話の恩返し。でも、亀は嫁に変身して現れなかったし竜宮城にも連れて行ってくれませんでした。残念！ 次の話は昨年夏の夕方。外で涼んでいると、手押し車の見慣れぬお婆さんが、鯉ヶ沢方面から歩いてきて、「コンビニまであとどのくらいかしら？」と、標準語で尋ねてきました。自宅からは一キロ、お婆さんの隣り村からは往復四キロ近くあるはず。

見送ってふと気づくと辺りは真っ暗。と田舎の夜は暗い。急いで自転車を追いかけて、安価な物だから返却不要と伝えて懐中電灯を押しつけ帰ってきました。

数日後、懐中電灯に丁寧な缶ビールと礼状を添えて風除室に置いてありました。お婆さんの恩返しです。

でも、ご老人に不要な散財をさせてしまった、親切のつもりがよけいなお節介だつたのかも、と考え込んでしまいました。

そもそも、親切という行為は、される側はさておき、する側は確実に心地よいのです。親切を施すと、ドーパミン等の「幸せホルモン」が脳内でドツと分泌され、極上の幸福感に満たされると言います。いい事したく私はいい人だ、幸せだ、という感じ。

でも、親切は、自己満足の押し売りに走る危険も十分にあります。自分で感じる幸福や正義が、相手にとっては無価値でむしろ不快な場合もあることを私たちは認識すべきでしょう。

あつ、お嬢様がお婆さんに姿を覚えて亀の分も恩返しに来たのかも？……これぞ自己満足の極みですね。  
(教育長 草創 文)

